

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	澤田正春・澤頭修自写真展開催事業
事業主体 (連絡先)	木曾地域文化芸術資源活用実行委員会 (〒399-5607 木曾郡上松町寝覚 2409・(一社)木曾人 木曾路美術館内)
事業区分	(3)教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,533,209円 (うち支援金1,089,000円)

事業内容

6町村が連携し木曾郡全域で行うのは初めての試みである。マスコミにも取上げられ、近隣地域より来場を得た。

■講演会 11/3、大桑村歴史民俗資料館ホール

■写真

期間：11/1～11/25 同時開催

開催場所：木祖村（笑ん館）、木曾町（御料館）、王滝村（村民広場）、上松町（木曾路美術館）、大桑村（歴史民俗資料館）、南木曾町（南木曾会館）

合計約 200 点を展示 全館入館無料

額装作品の一部は、過去の事業で作成したものも活用。観光期の周遊をめざし、全会場周遊達成景品つきのスタンプリーを実施。来場者にはアンケートを実施。



【講演会】



【展示会】

【目標・ねらい】

- ①木曾広域地域連携
- ②木曾の文化振興
- ③木曾の魅力発信
- ④文化芸術資源の活用

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 6町村が連携し木曾郡全域で同時期に開催することにより、文化芸術資源活用による広域連携ができた。
- 目標来場者数 3500 名に対し、来場者数のべ 3326 名、内講演会参加者 45 名、目標達成率 95%。
- 集客力のある当事業の取組みにより、エリア内回遊の実現および交流の活発化に寄与し、経済波及効果を生み出したことが推察される。
- 木曾の原風景を公開することで、年配者には懐古の念を、若年層には歴史が刻んだ新たな発見を、提供することが出来た

※自己評価 【A】

【理由】

6町村の同時期開催を実現し、地域内外より多くの観覧者を得た。来場者アンケートの結果により、木曾の文化芸術振興に寄与した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

木曾地域文化芸術資源活用実行委員会収蔵の額装品と王滝村収蔵の額装品が合計 200 点を超えたことから、各地域において独自に写真展を実施することが可能となった。今後は各地域において当事業の額装品を活用し、多くの住民や観光客へ木曾の魅力を積極的に伝えていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある